

本日のプログラム

例会 第2761回

- 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング
- 3.ビジター紹介
- 5.会食
- 6.会長挨拶
- 7.幹事報告
- 8.出席報告
- 9.スマイルBOX
- 10.卓話：真鶴町長 宇賀一章様
- 11.閉会点鐘

例会の予定

- ・4月26日(金) 卓話：苅谷和彦君
- ・5月10日(金) 卓話：望月博文君
- ・5月17日(金) 卓話：佐東丈介君
- ・5月24日(金) 卓話：伊藤伸之君



会長挨拶

久しぶりに石倉さんも出席出来て嬉しいです。ご無理なさらずお越しく下さい。

ロータリーの友を抜粋させて頂きます。

米山梅吉記念館が今年創立50周年を迎えるそうです。

先日お話しさせて頂きました、6月の家族親睦会にはこの米山梅吉記念館を予定しております。

みなさまも何年か前にも行かれた方もいらっしゃるかと存じますが、新しい方も増えて来ましたし、「創立50周年」という節目ともあって計画しております。

私もまた、「米山梅吉」さんの歴史や思いなどを新たためて勉強して行こうと思えます。

また、今年の9月14日には「記念式典」もあるそうなので、参加される方は是非、登録してください。

ホームページを見ていると、各地方から山口県、福島などから来館されているそうです。今の時期はとても桜が満開で沢山の方が来館されているようです。

今後「ロータリアンの心の故郷」「日本におけるロータリーの拠点」として、PRして行くようです。楽しみですね。



米山梅吉記念館玄関にて 2019.5.31



幹事報告

ガバナーより

1. 国際大会第2780地区地区ナイトのご案内

日時:2019年6月2日(日)18:30~ 場所:ハンブルグのレストラン

会費:1万円 回答期限:5月15日(水)

2. 次年度のガバナー公式訪問に関して

「クラブ活性化と充実を目指すための活動計画の指標」の書式をお送りいたします。昨年同様、ご記入いただき、ガバナー補佐及びガバナー事務所宛てに活動計画書と共にお送りいただきますようお願いいたします。

連絡事項 無し

|      |               |         |                  |
|------|---------------|---------|------------------|
| 出席報告 | ゲスト 1名        | ビジター 0名 | 会員 25名           |
|      | 欠席 6名 (免除者3名) |         | 前回の修正出席率 81.82%  |
|      | 出席率 86.36%    |         | 前々回の修正出席率 83.33% |

事前メイクアップ 1名 ゲスト 真鶴町 町長 宇賀一章様

湯河原  
ロータリークラブ

会長 石田 浩二  
幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上  
湯河原町宮上566  
湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉107  
ニューウェルシティ湯河原  
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30



平成31年4月19日(金)

天候 晴れ

合唱 奉仕の理想



国際ロータリー2018-19

RI会長 バリー・ラシン

第2780地区

ガバナー 脇 洋一郎



インスピレーションになろう

- ・ご夫人誕生日 土屋一弘君(節子様・4/25)
- ・ポールハリスフェロー・ピン1つ 石倉幸久君
- ・小倉高代君  
湯河原新聞・熱海新聞に「初心者のためのスマホ講座」がのりました。ガラケイからスマホに変える方が増えてきました。皆さまわからないところございましたら遠慮無くおっしゃって下さい。
- ・石田浩二君  
4月8日に足立区鋸南自然の家の指定管理の受託運営をスタートさせました。
- ・石田浩二君
- ・石倉さん復帰おめでとうございます。今後もお体が許すかぎりロータリー活動宜しくお願い致します。
- ・石田浩二君  
宇賀町長、本日はお忙しいところ湯河原RC例会に出席下さり誠に有難うございます。また、卓話をお受けいただき重ねてお礼申し上げます。短い時間ですが宜しくお願い申し上げます。



## 卓話：真鶴町 町長 宇賀一章様

神奈川県初！ サテライトオフィス開設！  
過疎地域・真鶴町から生まれる “働き方改革”

—神奈川県における「働き手移住」の新しい形—

過疎地域・真鶴町から始まる「新たな働き方」

“働き方改革”という社会の流れを受け、神奈川県初の過疎地域に指定された真鶴町において、「新しい地方の働き方」を生み出すサテライトオフィスの誘致が実現しました。地元の主婦を雇用し、育児・家事をしながら仕事ができる在宅ワークを提供している大阪の企業(株)ブックスタンドが、自治体誘致としては神奈川県内で初となるサテライトオフィスを真鶴町に開設しました。

若年女性人口の減少が大きな課題となっている真鶴町において、女性が活躍できる場づくりを一つの柱にサテライトオフィスの誘致を図ってきた中で、(株)ブックスタンドがその趣旨に賛同し、真鶴町の主婦を雇用し、育児や家事の合間にパソコンやスマートフォンで仕事ができる環境が提供され、真鶴町に新たな「働くカタチ」が生まれました。同社をはじめ、育児や家事の合間に仕事ができるサテライトオフィスを誘致することにより、真鶴町の人口減少の大きな要因である「女性が働く場」を創出し、仕事づくりから子育て環境の向上を目指していきます。

## 【サテライトオフィス(SO) 開設の概要】

SO 開設者:株式会社 ブックスタンド

SO 開設場所:真鶴テックラボ(申込内容:利用区分「スモールオフィス」、年間利用)

会社 概要:【本社】 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 12階1号室

【事業概要】WEB マーケティング (主に住宅リフォーム分野におけるWEB集客)

【資本金】100万円 【従業員】14名(平成29年4月時点)

備考:業務内容は在宅で可能であるため、真鶴テックラボにスモールオフィスを開設。家事と両立できる仕事の提供を目指して、現時点で真鶴町長の主婦2名を雇用

サテライトオフィスから生まれる可能性

サテライトオフィスとは、企業・団体(地方自治体等)の本社から離れた場所に設置されたオフィス(事務所)で、働き方改革という社会の流れを受けて、自然豊かな環境や職住近接で働くことの価値が高まる中で、地方に進出する事例が広がっています。また、空家の利活用や高齢社会・防災等に寄与するサービスの開発等、地域の課題をビジネスの手法を取り入れ解決するための拠点としても地方にオフィスを開設する企業もあります。

真鶴町では、このサテライトオフィスの誘致強化を図るため、受入れのワンストップサービスとして誘致業務に専従するサテライトオフィスコンシェルジュも採用し、また、今年5月29日にはサテライトオフィス誘致運営協議会が発足いたしました。同協議会は、真鶴町観光協会や商工会をはじめとした町内関係団体と行政で構成する官民連携組織で、行政やコンシェルジュ、そして町民・町内事業者が一体となってサテライトオフィスを誘致する体制を整え推進していきます。

真鶴町の人口減少の要因である女性が働く場の創出だけでなく、地場産業の高度化や新規事業の展開、高齢化や防災対策

等における新たなサービスの開発・誘致等もサテライトオフィス誘致から開拓し、真鶴町から新たな仕事やサービスを生み出していきます。

### 真鶴から切り開く働き手移住!

真鶴町は人口減少問題に対して、生産年齢人口が高齢人口を上回る「活力ある人口構成」をつくることにより地域の自立・持続可能な地域づくりを目指していきます。

そのために、真鶴町では「働き手移住」を掲げ、ベンチャー企業をはじめとした働く世代の移住・働く世代の雇用の確保を目指すサテライトオフィスの誘致の他に、おとし暮らし事業「くらしかる真鶴」や、場所を選ばない職業であるクリエイターやアーティストとの交流人口の開拓を目指した創作拠点施設「真鶴テックラボ」を開設するなど、現役世代が真鶴町に訪れ、交流・試住し、移住につなげていく対策を連動させ推進しています。

神奈川県で初めて過疎地域に指定された真鶴町において、「働き手移住」のモデルを構築し、真鶴町民が地元の町で働き住む環境を創出していきます。

### 新たなサテライトオフィス開設!

過疎地・真鶴町から始まる 結婚相談・婚活事業!

地域との共生、地元主婦も雇用!

真鶴オフィスを拠点に始まる移住推進・結婚相談事業!

特定非営利活動法人・結婚相談 NPO が真鶴町において二社目となるサテライトオフィスを開設いたしました。若年女性人口減少という課題を抱える過疎地域・真鶴町において、結婚相談所の開設や婚活イベントの開催といった地域の課題解決・移住促進につながる事業を展開していきます。現地居住者による地域課題解決を目指し、地元の主婦をはじめとした2名の真鶴サテライトスタッフも雇用し、また、オフィスとなるコミュニティ真鶴(コミュニティセンター)の運営協議会にも加盟し、同施設の清掃活動等の管理や運営の活性化にも取り組んでいきます。

地域との共生・地域の課題解決を最重視する結婚相談 NPO と共に、真鶴町は人口減少・雇用の開拓・地域の活性化という課題解決に取り組んでまいります。

#### 【サテライトオフィス(SO) 開設の概要】

SO 開設者: 特定非営利活動法人・結婚相談 NPO

SO 開設場所: コミュニティ真鶴

会社 概要: 【本部】東京都新宿区西早稲田 3-24-8 サンボックス 5F

【事業概要】結婚相談事業、婚活イベント等の開催

#### サテライトオフィスから生まれる可能性

サテライトオフィスとは、企業・団体(地方自治体等)の本社から離れた場所に設置されたオフィス(事務所)で、働き方改革という社会の流れを受けて、自然豊かな環境や職住近接で働くことの価値が高まる中で、地方に進出する事例が広がっています。また、空家の利活用や高齢社会・防災等に寄与するサービスの開発等、地域の課題をビジネスの手法を取り入れ解決するための拠点としても地方にオフィスを開設する企業もあります。

真鶴町では、このサテライトオフィスの誘致強化を図るため、受入れのワンストップサービスとして誘致業務に専従するサテライトオフィスコンシェルジュも採用し、また、今月5月29日にはサテライトオフィス誘致運営協議会が発足いたしました。同協議会は、真鶴町観光協会や商工会をはじめとした町内関係団体と行政で構成する官民連携組織で、行政やコンシェルジュ、そして町民・町内事業者が一体となってサテライトオフィスを誘致する体制を整え推進していきます。

真鶴町の人口減少の要因である女性が働く場の創出だけでなく、地場産業の高度化や新規事業の展開、高齢化や防災対策等における新たなサービスの開発・誘致等もサテライトオフィス誘致から開拓し、真鶴町から新たな仕事やサービスを生み出していきます。

真鶴から切り開く働き手移住! 真鶴町は人口減少問題に対して、生産年齢人口が高齢人口を上回る「活力ある人口構成」をつくることにより地域の自立・持続可能な地域づくりを目指していきます。

そのために、真鶴町では「働き手移住」を掲げ、ベンチャー企業をはじめとした働く世代の移住・働く世代の雇用の確保を目指すサテライトオフィスの誘致の他に、おとし暮らし事業「くらしかる真鶴」や、働く場所を選ばない職業であるクリエイターやアーティストとの交流人口開拓を目指した創作拠点施設「真鶴テックラボ」を開設するなど、現役世代が真鶴町に訪れ、交流・試住し、移住につなげていく対策を連動させ推進しています。

神奈川県で初めて過疎地域に指定された真鶴町において、「働き手移住」のモデルを構築し、真鶴町民が地元の町で働き住む環境を創出していきます。

